

One-woman Literary musical Murasaki Shikibu

紫式部

ひとり文芸ミュージカル

雲隠れ

演出・音楽 神尾憲一

原作 稲坂良比呂 (ささめごと源氏物語-紫式部雲隠れ-)
原案 島崎藤村 (夏草より「天河」)
脚本 スミダガワミドリ

紫仙女 源川瑠々子

紅仙女(後見) 敷丸

協力 省心会

2024年6月7日(金) 会場/越前市いまだて芸術館

福井県越前市粟田部町11-1-1

チケット取扱 4月6日(土)より前売り開始

◇越前市いまだて芸術館 電話 0778-42-2700

◇越前市文化センター ◇アル・プラザ鯖江 ◇武生楽市

◇パリオCITY ◇チケットぴあ Pコード: 525934

全席自由 開場18時/開演18時30分(終演20時30分予定)

ご観劇料(税込) 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

◇FC事務局 電話予約・お問い合わせ 03-5822-0318

主催/ (有) ライトリンク・ミュージック 共催/ 公益財団法人越前市文化振興・施設管理事業団

後援/ 福井県、越前市、越前市教育委員会、紫ゆかりの館、越前市文化協議会、FM福井

ひとり文芸ミュージカル『紫式部-雲隠れ-』について

本作は若き紫式部が、源氏物語を執筆するまでを描いた作品で、その想いと覚悟が表現されています。重要なのは、都をはなれ琵琶湖を渡り、越前武生で過ごした日々。そこで体感した様が源氏物語執筆に与えた影響に着目しています。

幼少期より膨大な書物を読み学び、さらに貿易が盛んな越前でリアルな外国に触れたのです。

本作の紫式部は、おおらかな性格で描かれます。それは都を離れての暮らしとそこで詠まれた歌から着想したからです。

都に戻り、結婚、出産、死別。そして源氏物語執筆にいたる時。紫式部が心ね強く立ち向かっていったのは、10代のもっとも伸びやかな日々を胸に抱いていたからだと思えるのです。

脚本 スミダガワミドリ

特別講座

三田村悦子

みたむら えつこ



福井県武生市（現越前市）に生まれ、現在は福井市在住。

1978年より武生市役所（現越前市役所）に30年勤務。その間24年6か月、図書館で働く。

2009年3月に越前市役所を退職。4月から滋賀県守山市役所に奉職、図書館長として10年間勤務。その間、守山市立図書館の建て替えに関り2018年11月に新図書館をオープンさせる。

2020年3月守山市役所退職、福井市に帰る。2020年より、滋賀文教短期大学、北陸学院大学の非常勤講師となる。

2021年より紫式部と国府の資料館「紫ゆかりの館」の館長となる。今春、3月20日武生お総社通りに「えほんのとも」（BOOK&CAFÉ &etc）をオープン、店長として働く。

- ・紫式部と国府資料館「紫ゆかりの館」 <https://www.murasakiyukari.com/>
- ・Instagram https://www.instagram.com/info_murasaki/
- ・えほんのとも <https://ehonnotomo.sakura.ne.jp>

紫式部雲隠れ最新情報

<http://shosin-kai.com/stage-murasaki.html>

開催予定等、最新情報は公式サイトにてご確認ください。



2024年6月7日（金）開演18時30分

※30分前開場 ※上演時間2時間予定（講座20分 休憩10分 本公演90分）

【お問合せ】越前市いまだて芸術館 0778-42-2700 FC事務局 03-5822-0318

紫 誰 の 月 向 そ
式 と ち の か の
部 も に 使 い 道
と な 百 い し に
名 し 年 の 者
付 に 過 天 は
け 語 ぎ の 名
ら り た ひ の
る 継 頃 と 通
る ぐ 通 通

—前口上—

短歌募集

～特別審査員 松平盟子先生～

<題詠> 『風』または『香』『薫る』

(例)

川に沿って
歩けば海へ
出るだろう
光をまとう
春風の中
松平盟子

- ◆各賞 最優秀賞一首／優秀賞二首／佳作 数首
- ◆入賞作品は、劇場ロビーに掲示発表
- ◆副賞は、本公演ペアチケット

<締め切り> 2024年5月10日（金）消印有効

<応募方法> ※2つの方法がございます。

① インターネット投稿特設ページ

<http://shosin-kai.com/post.html>

② 郵便はがき

〒111-0052 東京都台東区柳橋1-23-4

須賀ビル8階

(有) ライトリンクミュージック内FC事務局

「短歌募集」係



協力 省心会

<http://shosin-kai.com/>